

令和6年度第1回小浜市地域公共交通会議 議事録

1 日 時 令和6年7月4日（木） 10:30～12:00

2 場 所 働く婦人の家 3階 大会議室

3 出席者 <委員>18名、欠席9名

川本義海会長、野村徳夫副会長、今井正美委員（代理：水野様、古谷様）、
岩崎育巳委員、北野進一委員、向平章浩委員、森健次郎委員、植田祥彦委員、
岩本昌樹委員、小林正尚委員、加藤拓委員、竹本雅之委員、山田和義委員、
寺前奈美委員、岡本敏路委員、中出博行委員（代理：吉川様）、山口久範委員

<事務局>

小浜市新幹線・交通まちづくり課

4 議事次第

(1) 開会

(2) 議事

(報告事項①)

小浜市の公共交通の現状について

(報告事項②)

コミュニティバスの運行形態見直しについて

(3) その他

(4) 閉会

5 議事

(1) 開会

【委員委嘱】

事務局：前回の委員の任期満了および人事異動等により交代となる委員の方については、前回の任期満了後、7月からの委嘱とさせていただいておりますので、ご了承ください。

【会長・副会長 選任】

事務局：会長・副会長の選任について、本会の会長は、福井大学大学院教授・川本委員にお勤めいただきたいと存じますが、皆様よろしいでしょうか。

(異議なし)

なお、副会長につきましては、内外海コミュニティセンター長の野村様をお願いさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

【会長挨拶・川本会長】

本日は、今年度第1回目ということですが、(今年度の事業については)令和4年度に策定しました「小浜市地域公共交通計画に基づき、進めていくこととなります。嶺南地域としてどうあるべきかということも含めて、本日は、活発に議論いただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

○地域公共交通会議とは

【中部運輸局・福井運輸支局】「活発で良い議論ができる会議のために」のパンフレットをもとに説明

(報告事項①)

○小浜市の公共交通の現状について

【事務局】資料に沿って説明

【会長】

委員の皆様、何かご質問・ご意見ありましたらお願いたします。

【委員】

あいあいバスやJR小浜線の利用状況を記載いただいておりますが、名田庄線・若江線の最近の利用状況やトレンドなど教えていただきたい。

【委員】

名田庄線の方ですが、学生が減っているため、トレンド的には、右肩下がりという状況です。

【会長】

学校関係の利用者が中心になってくるところで、生徒や保護者からの意見や要望、また、部活や学校行事を通して、公共交通に対してのご意見などがございましたら、ぜひいただきたいと思っております。いかがでしょうか。

【委員】

主に内外海方面の生徒がバスを利用しているが、通常の登下校については、順調に利用させていただいています。乗車人数については、特に減ったという感じではありません。便数については、特に土、日に行事等で生徒が登校する日については、通常の日とダイヤが変わってきますので、登下校の時間を慎重に考えないといけないということがございます。

【会長】

ダイヤについても、事業者と学校で事前に上手く調整いただくことで、利用しやすくしていただくことが大事だと思うので、引き続き、情報を共有していただいて、対応いただきたいと思います。

【委員】

P16の運転免許自主返納事業について、教えていただきたい。実績の推移は同じくらいで推移しているが、実際、免許の返納者はどれくらいいるのか。例えば、返納者がこれくらいいて、利用者が一定なのか、返納者が一定で利用者も一定なのかということについて、分かれば教えてください。

【委員】

数については、手元にデータがないのでお答えすることができませんが、返納自体は少しずつ増加している傾向でございます。ただ、その方が必ずしも、制度を利用されるかというのと、そのまま病院に入院されたり、制度を利用されない方もいらっしゃるということで聞いておりますので、この数がイコール返納した数ではないというのが現実でございます。

【委員】

返納者が少し増えているということをお聞きしましたが、（これに対して）公共交通の利用者があまり変化がないということは、使い勝手が悪いとか、もっと他に運転免許を返納した場合の助成ができないかということをお伺いしたいと思います。

【事務局】

小浜市のこの支援事業については、令和5年度が113件となっています。令和3年度から令和4年度ということで順に書いてありますが、大体年間100件程度というところで、予算立てもそういったような形でさせていただいております。ただ、免許返納について、やはり小浜市の住民の方の移動方法というのが、非常に車に頼っているという状況がございます。そういったところで、今後の免許の返納数について推移を考えていきたいと思っております。また、おっしゃられたように、車に代わる公共交通の利用ということで、まさにこの公共交通会議で今後、そういったことも含めて考えていかなければならないと思っております。免許返納の際の新たな支援ということにつきましては、現在未定となっております。

【委員】

運転免許返納者のタクシーやバスチケットの持ち腐れみたいなことは起きていないでしょうか。

【事務局】

タクシーチケットやバスチケットの使用状況につきまして、現状どうなっているのかということで、交通事業者様の方からお答えいただけませんかでしょうか。

【委員】

配布されている、タクシーチケットの1万円分というのは、ほぼ使用されているというのが、現状です。回数券に関しては、特に印があるわけではないので、それが使用されたかどうかは判断しにくいですが、大部分の方がタクシーの1万円分のチケットを求められる中で、あえて、あいあいバスのチケットを求められるというのは、やはり使用される目的があり、あいあいバスの回数券を選ばれているということだと思うので、恐らく使用されているのではないかと推測します。

【会長】

効果を発揮しているかどうかを、使われているかどうかで判断されるべきものとすれば、今おっしゃられたように、求められた分は使われているだろうということであれば、効果は出ているだろうと判断できます。ただ、これが十分だということで、もっと免許返納を進めるための呼び水になっているかどうかは、まだ、色々議論があると思います。

市町の財政状況や考え方によっても色々幅があると思います。もらったチケットを全て使い切つて、あとは誰かに乗せてもらうということでは、公共交通を使っていただくということに繋がりません。大学の方も小浜市と協力しながら、一緒に取り組ませていただくということになっておりますので、こういったことにつきましても、また検討させていただきたいと思います。

【委員】

他の自治体の運転免許返納の促進策の事例を少し紹介させていただきます。やはり、運転免許を返納して公共交通を利用しても全然不便にならないというような意見をもっとしっかり広報していくべきだと思います。例えば、この制度を利用された方にインタビューを行って、「自家用車の方たちと生活水準が全然変わらない」といったことや、1年間の無料パスは他の自治体と比べても大盤振る舞いされているレベルだと思いますので、全然不便にならないという利用者の声をしっかり聞き取っていただいて、例えば特集を組んだり、広報に掲載したり、そういったPRも必要ではないかと思えます。

【会長】

やはり見えないところなので、実際自分がどうなるかということを考えながら、不安があるとなかなか一歩踏み出せないということだと思います。実際に免許返納されても、全然生活レベルは下がらない方もいらっしゃるということが、どれだけ皆さんに知られているかということは確かにまだ見えていないかなと思います。(このような制度が)ありますよということですが、どうなるかということまでフォローできていないと思いますので、このあたりについても少し進められればと思います。

(報告事項②)

○コミュニティバスの運行形態見直しについて

【事務局】 資料に沿って説明・報告

【会長】

委員の皆様、何かご質問・ご意見ありましたらお願いいたします。

【会長】

地域の異なるエリアで2つのタイプの実証実験を行ったということですが、実験については、このままでは上手くいかないだろうということなので、この報告をもって、そこからどうするという形で一旦仕切るという報告の内容になっております。報告にもありましたが、運行方法そのものを否定するものではなく、やり方などももう少ししっかり見ないと判断が難しいという状況です。特に市街地の循環については、意見をいただく中で、ルートの見直しなど工夫の余地があるかと思えます。

一方でデマンドについては、事業者継続してやっていただけるかという話になると、運転手不足や労働環境の改善というところでなかなか厳しい状況でありますので、簡単ではないというところもあります。事業者に全て任せるといった仕組みでは成立しがたいだろうと思えます。そのあたりを含めて今後考える必要があるだろうという結論かと思えます。

今年度も6月に意見交換を行われて、いただいた意見からすると、皆さん、そういった感触を持たれているのかなということもありますので、これを基に、今年度、また来年度どのように展開していくかということについて、本日は結果報告(確認)ということまでで具体的にどうするというところまではできないですが、次回以降で具体的などころを進めさせていただけるかなと思っております。

ただ、今の段階でも何かあれば伺いたいと思えますがいかがでしょうか。

今回、無料という形でありましたが、本格的にやる場合には、無料という形は取れないと思えます。費用が発生することになると、アンケートなどから大体ワンコインが一つの目安になりそうです。今のあいあいバス程度くらいのところは必要になるということですが、ただ、利用者が増えればそれだけ1人当たりの単価が下がるということにはなると思えますので、そのあたりの算段というのもし必要になるかと思えます。

まずは、この結果について、確認いただいたということでもよろしいでしょうか。引き続き議論させていただく形になると思えます。

次回以降、具体的に事務局の方で案をご提示できるようお示ししていければ、皆さんの議論も活発になるかと思えますので、そのような方向で進めさせていただきたいと思えます。

(その他)

【会長】

委員の皆様、その他、何かご質問・ご意見ありましたらお願いいたします。

【事務局】

事務局からご連絡させていただきます。

1点目が嶺南地域の交通計画についてです。嶺南地域の交通計画が今年新たに改定される予定でございます。計画期間は来年から4年間という予定となっております。そして、それ以降は嶺北と統合

という形で動いており、本市につきましても嶺南地域の公共交通網の計画の中に含まれる話になってくるとおられます。本件に関して今後の公共交通会議の大きな1つのテーマになると考えておりますので、今後、県の方から何かアクションがあった場合には、小浜市地域公共交通会議の中で協議させていただきたいと思っております。

2点目が市内交通事業者の現状についてです。ご報告の部分でも少しお話させていただきましたが、市内交通事業者の状況につきまして、改めて、事務局よりお話させていただきたいと思っております。

まず、タクシー業界を取り巻く現状ですが、やはり全体的に乗務員不足であるといったことや、朝の通勤・通学の時間帯の運行の確保が難しいこと、特に朝の7時台はタクシーに人を回す余裕がない場合があるということでお伺いしております。

また、人手不足の状況ということで、この業界は若い人が入ってこないといったことや、ハローワークや有料サイトでも募集をかけているが、入社してくる人数より退職人数が多く、自然減となっているということでご意見をいただいております。また、新幹線開業後の状況ということで、状況としては、数が増えているとは思えないといったご意見や、一方でバスに関しては旅行会社から問い合わせがあるといったご意見もお伺いしております。

このような状況の中で、嶺北ではバス路線の減便などのお話もございします。

本市におきましても、現在、交通事業者様より「労働基準法の法改正により、事業者としても従業員の働き方改革を進めなければならぬ」ということで、乗務員の待遇改善にかかるご提案などを頂戴しているところでございします。お話させていただく内容が具体的に固まりましたら、今後の公共交通会議にて皆様にご協議させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

その他、交通事業者様から補足等ございましたら、お願い致します。

【委員】

補足等、特にございしません。

【委員】

タクシーの乗務員不足に関して、県内だけの話だけではなく、全国共通の話になりますが、この春からタクシーの乗務員不足に対応する施策として自家用車活用事業という事業が全体で始まっています。福井県内においても福井県様が予算化していただいております、自家用車活用事業の支援ということで参画している県内の他の自治体でも事業が始まっています。ぜひ小浜市さん、タクシー会社さんも参画についてご検討いただきたいと思います。嶺南地域ですと敦賀市さんと敦賀市内のタクシー会社さんにもご協力いただいております。

また、若狭メモリーライナーに関して、実績が伸びていないと聞いていますが、メモリーライナーの経路検索サイトへの対応状況についてお伺いしたいと思います。

【事務局】

若狭メモリーライナーについては、現在、3市町（小浜市、高浜町、おおい町）の協議会で事業実施しているところです。経路検索サイトにつきましては、現在3社に登録してあり、検索はできるようにはなっているが、利用者の伸び悩みというようなこともございしますので、経路検索について、今後あと数社追加で経路検索できるように対応していきたいと思っております。

【委員】

3月16日に北陸新幹線敦賀開業し敦賀駅は従来の4倍から5倍のお客様がお見えになっている状況ですが、朝一番に首都圏から敦賀に到着した後に小浜線に乗っていただくということで、時刻表の赤色で記載のある時刻は土休日に運行する列車ということになります。9:50敦賀駅発で運行するが、その後、小浜駅から東舞鶴駅まで延伸ということで今は臨時列車による運行を行っています。この臨時列車については、7月20日から8月末まで運行するような形です。今まで小浜から舞鶴方面の列車は11本しかなかったが、1本増やして12本というような形で観光を目的とするお客様にご利用いただければということで用意しています。開業からゴールデンウィークまで一度運行したが、なかなか利用が少ない中で、夏休みにも再度ご利用いただくということであります。ぜひこういったものがあるということで知っていただき、ご利用いただきたいと思えます。

また、小浜駅につきましても、昨年リニューアルということで、お客様が集える場所として開業していただきました。JR利用者だけではなく、バス利用者や地域の方が集まるようなスペースにしていただき、本当にありがとうございます。

今後もJRとして、秋には観光列車やそれ以外にも小浜市さんの方で色々計画されていると聞いていますので、少しずつでもお客様が増えていくようにご協力をお願いしたいと思います。

【事務局】

最後に事務局から、今後のスケジュールについて、お伝えさせていただきます。今回が令和6年度第1回の会議ということで開催させていただきましたが、今後、第2回の会議を11月下旬から12月上旬、第3回の会議を令和7年3月中旬から下旬に予定させていただきます。また、開催が近づきましたら、ご案内させていただきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

【会長】

他の皆様からご意見、ご質問はございませんか。それでは、本日の議事についてはすべて終了とさせていただきます。ご協力いただきまして、ありがとうございました。

閉会

【事務局】

川本会長ありがとうございました。また、委員の皆様につきましては、貴重なご意見をいただきまして誠にありがとうございました。

皆様からいただいたご意見を参考に、今後の小浜市の公共交通のあり方について、検討させていただきます。本日は実証実験の結果を踏まえて整理をさせていただいた状況です。第2回目の会議につきましては、具体的なご提案をさせていただき、ご検討いただけるかと思っておりますのでよろしくお願い致します。

それではこれで令和6年度第1回小浜市地域公共交通会議を終了させていただきます。誠にありがとうございました。

以上